

# 資料 2

## 鳥取市の取り組みについて

(鳥取砂丘・ジオパーク推進課)

テーマ	鳥取砂丘、砂の美術館を活かした観光の取組について
<p>鳥取市の取組み状況 (現状)</p>	<p>「砂の美術館」は平成 18 年に第 1 期展示を開催して以来、平成 22 年の第 4 期展示までの入館者数が 100 万人を超え、「砂像のまち鳥取市」を印象づけるとともに、国内外に広く知れわたるようになった。</p> <p>また平成 23 年には世界初となる全天候型の砂像展示施設を整備し、2012 年 4 月、第 5 期展示「砂で世界旅行・イギリス」を開催し、入館者数は過去最高となる 526,768 人を記録するとともに第 1 期からの総入館者数は 150 万人を超え、本市を代表する観光拠点施設となっている。</p> <p>現在、第 6 期展示「砂で世界旅行・東南アジア編」を開催中であり、7 月 15 日には 4/20 のオープンからの入館者数が 20 万人を超え、目標の 55 万人達成に向け、イベントの開催や各種プロモーション活動を実施している。</p> <p>また、多くの入館者が訪れる中、駐車場が不足していることから、平成 26 年 4 月の来期のオープンに合わせ、乗用車約 230 台分の駐車場整備を進めている。</p>
<p>今後の方針等</p>	<p>鳥取自動車道の全線開通を受け、近くなった鳥取市へ県外から多くの観光客が鳥取砂丘を訪れている。</p> <p>地域経済の活性化を視野に、山陰海岸ジオパークを形成する周辺観光地や温泉等宿泊施設との連携を図り、鳥取砂丘あるいは砂の美術館を中心とした滞在型観光をこれまで以上に充実させていく。</p>
<p>課題・問題点</p>	<p>砂の美術館の誘客は「鳥取砂丘」という抜群の知名度を誇る観光地に牽引されている要素がいまなお強く、独自地域ブランドとしての確立を図るためにも積極的な広報宣伝による全国発信・知名度向上が必要となる。</p>
<p>その他</p> <p>※参考資料等があれば添付してください。</p>	<p><input type="checkbox"/>砂の美術館第 6 期展示チラシ</p> <p><input type="checkbox"/>砂の美術館紹介冊子</p>

※参考資料については、様式など問いません。



# 砂で世界旅行・東南アジア編

—王朝の栄華とよみがえる神秘の国々—

鳥取  
砂丘



砂の美術館 —第6期展示—

THE SAND MUSEUM  
TOTTORI SAND DUNES

2013 4/20 ▶ 2014 1/5

official sponsors



風雅かりんとうの里

丸山 東寮



ヤマト運輸

ハウステンボス

後援: 国際機関 日本アセアンセンター

# 来場者の96%以上が感動した、圧巻の「砂像の世界」

砂の美術館は、2006年に砂像彫刻の展示をスタートさせて以来、毎年テーマを変え、世界トップクラスの砂像彫刻家が繊細で存在感のある作品を創り出し、150万人を超える来場者に未知の感動を与えてきました。第6期展示のテーマは「砂で世界旅行・東南アジア編」。エキゾチックで神秘的な砂像の世界をお楽しみください。



## 砂の美術館

THE SAND MUSEUM  
TOTTORI SAND DUNES

砂の美術館は、雄大な鳥取砂丘の一角に砂像彫刻を展示する、世界初の全天候型の美術館です。



〒689-0105 鳥取市福部町湯山 2083-17  
Tel.0857-20-2231 Fax.0857-20-2232

料 一般/600円(500円)  
小中高校生/300円(200円)

※( )内は20名以上の団体料金

営 午前9時～午後8時(最終入館:午後7時30分)  
休 展示替期間中

山陰海岸ジオパークは、2010年10月に世界ジオパークネットワークに加盟認定されました。この美しい地質遺産を「見て」「学び」そして恵みを「食べて」、存分にお楽しみください。



山陰海岸ジオパーク

## Access map



- 飛行機で  
東京(羽田空港)→鳥取空港 (約1時間10分)
- 鉄道で  
名古屋→鳥取 新幹線+特急スーパーはくと(約3時間20分)  
大阪→鳥取 特急スーパーはくと(約2時間30分)  
広島→鳥取 新幹線+特急スーパーいなば(約3時間30分)
- 車で  
関西方面から  
中国自動車道佐用JCT→鳥取自動車道鳥取IC (大阪から約2時間30分)  
四国・九州方面から  
中国自動車道津山IC→国道53号北上 (岡山から約2時間30分)





# 鳥取砂丘 砂の美術館

鳥取市  
鳥取砂丘・ジオパーク推進室

0857-20-3036



# 目次

鳥取市長挨拶	・・・ 1
砂の美術館概要	・・・ 2～3
・ 砂の美術館とは	
・ 総合プロデューサー紹介	
・ 砂の美術館館長挨拶	
・ 施設概要	
館内案内図	・・・ 4
砂像とは	・・・ 5
第5期展示作品	・・・ 6～7
過去の展示作品	・・・ 8～11
砂像のまち鳥取市	・・・ 12～14



# ご挨拶

## 鳥取市長 竹内 功



「砂像」というのをご存じでしょうか。「砂像」とは、水で締め固めた砂のみで作られた彫刻です。鳥取市では鳥取砂丘の砂で制作した砂像を常設展示する「砂の美術館」を世界で初めて開館しました。魅力あふれる観光地として「砂像のまち鳥取市」の実現を目指す本市の取り組みを紹介します。

砂の美術館は2006年の第1期展示から2010年の第4期展示まで、屋外や仮設のテントの中で世界トップレベルの砂像作品を制作・展示し、100万人を超える多くの来場者に砂像の魅力を発信してきました。

その後、更なる観覧環境の改善とより壮大なスケールの砂像展示を行うため、世界で初めてとなる全天候型の砂像展示専門の美術館を整備し、2012年4月、第5期展示「砂で世界旅行・イギリス」をスタートさせることになりました。

第5期展示ではエリザベス女王即位60周年やロンドン五輪に沸いたイギリスの歴史的建造物や大英帝国繁栄の足跡を砂像で再現しており、作品数も16作品とこれまで以上に壮大なスケールでお楽しみいただけるようになりました。期間中には、通算来場者が150万人を達成し、また第5期展示の来場者数も過去最高となる50万人を超え、名実ともに「砂の美術館」を世界、日本全国に発信することができました。

2010年に山陰海岸が「世界ジオパーク」に認定され、鳥取砂丘は世界の貴重な自然遺産として一層注目されています。本市は①鳥取砂丘に誇りを持ち、地域の宝を大切にすま②世界最高の砂像に出会えるまち③砂像文化を全国・全世界に発信するまち、をコンセプトに「砂像を活用したまちづくり」を進めており、世界最高レベルの砂像の展示や、砂像制作の担い手である「砂像マイスター」の育成、市民や観光客が楽しむ砂像制作体験を行っています。また、中心市街地等で展示する「まちなか砂像」や観光客をお迎えする「ウェルカム砂像」、更に国内外で観光キャンペーンを行う「イベント交流砂像」など多彩な砂像づくりを通じて、本市の砂像文化の情報発信に努めています。こうした取り組みの中核となるのが「砂の美術館」です。

砂像は時とともに崩れゆくはかない芸術ですが、使用されている10万年前の古砂丘の砂は大切に再利用し、毎年新たなテーマによる砂像としてよみがえります。2013年度の第6期展示では、「砂で世界旅行・東南アジア編」をテーマに、王朝の栄華や現代の躍動する様子など、東南アジア特有の神秘的な世界を砂像で再現します。多くの皆様に鳥取市へお越しいただき、砂の芸術の砂像文化とともに山陰海岸ジオパークの生み出した豊かな自然や歴史・文化、山海の味覚を満喫いただきたいと願っております。

# 砂の美術館

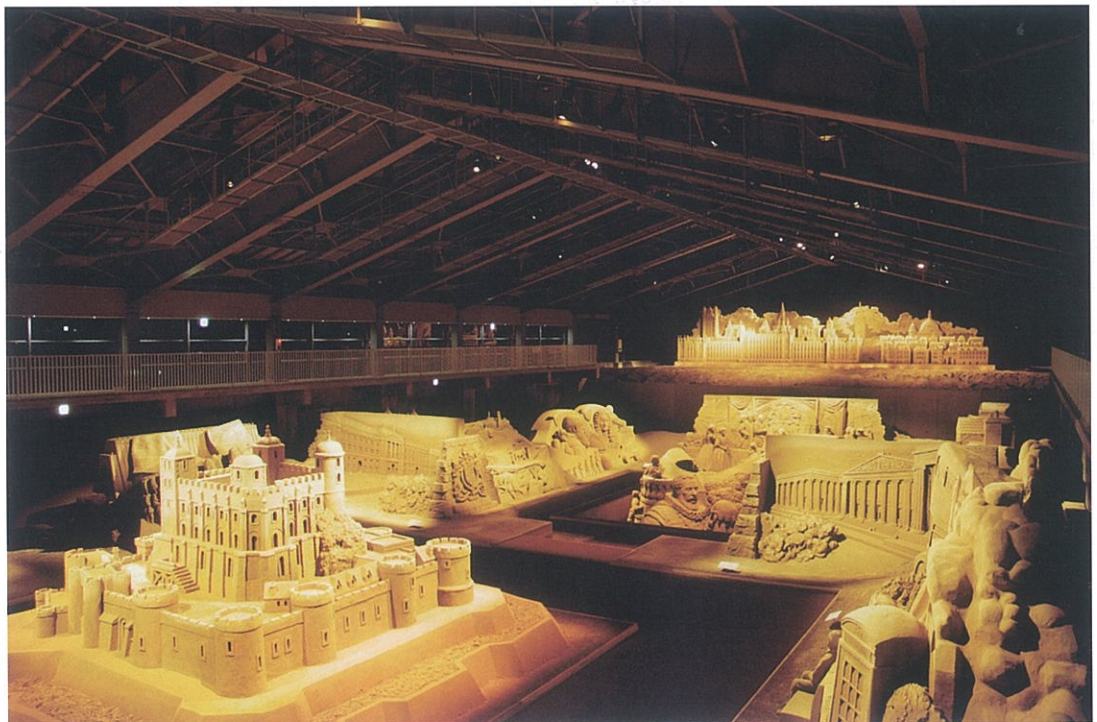
世界初、砂の彫刻を展示する美術館。

悠久の時を経て形成され、今もなおとどまることのない鳥取砂丘。

その新しい歴史を確かに刻んだのが、鳥取砂丘砂の美術館。

当館は、10 万年以上前の「古砂丘の砂」によって制作された砂の彫刻「砂像」を、世界で唯一常設展示する砂像展示専門の美術館として 2012 年 4 月に誕生。

山陰海岸ジオパークの貴重な地質遺産である鳥取砂丘から、新たな砂の芸術・文化を創造し、様々なコミュニケーションの輪が波紋のように広がり、つながり合うような美術館をめざしている。



## 総合プロデューサー チャエン カツヒコ 茶圓 勝彦

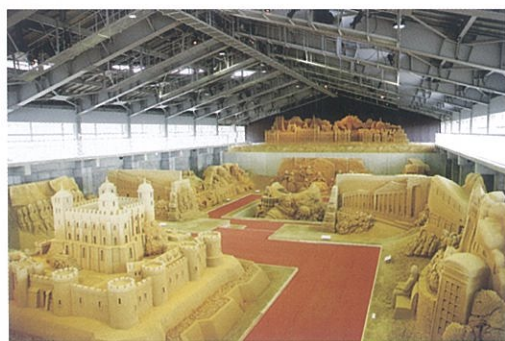
鹿児島県南さつま市出身。職業：砂像彫刻家、兼プロデューサー。武蔵野美術大学卒業。

- 鹿児島県「吹上浜砂の祭典」にて総合プロデュース
- 鳥取市「砂の美術館」にて総合プロデュース
- 1999 年、W S S A 主催砂像世界選手権シンガポール大会にて優勝。その他各種砂像選手権大会に参加し入賞
- イタリア、シンガポール、オランダ、ドイツ、中国等にてエキシビションに参加
- イタリア・トリノオリンピックコマーシャル砂像制作
- 2009 年、鳥取市 世界砂像フェスティバルにて総合プロデュース
- 2011 年、鳥取市 第 31 回全国豊かな海づくり大会で「天皇后両陛下お出迎え砂像」「ウェルカム砂像」を制作
- ニューズウィーク日本版 2009 年 7/8 号にて「世界が尊敬する日本人 100 人」に選ばれる。 など

## ご挨拶

世界初、砂像を展示する美術館として誕生した、砂の美術館。毎年テーマを変えて展示される超一流の作品は、常に新たな驚きと感動を与えてくれます。平成25年のテーマは「砂で世界旅行・東南アジア編」。新たな砂像の奇跡とともに、皆様のお越しを心よりお待ちしております。

鳥取砂丘砂の美術館 館長 下澤 武志



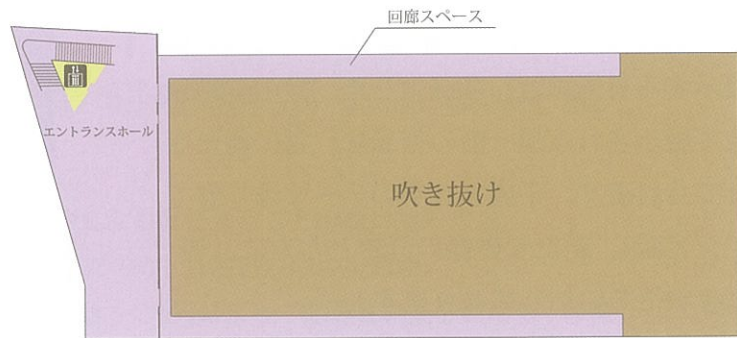
### 施設概要

所在地	鳥取市福部町湯山
延床面積	約3000平方メートル
階数	地上3階
構造	鉄筋コンクリート造
総事業費	5億7750万円



# 館内案内図

3 F

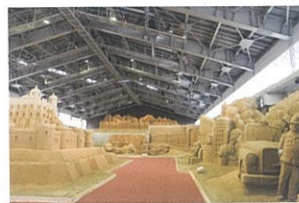
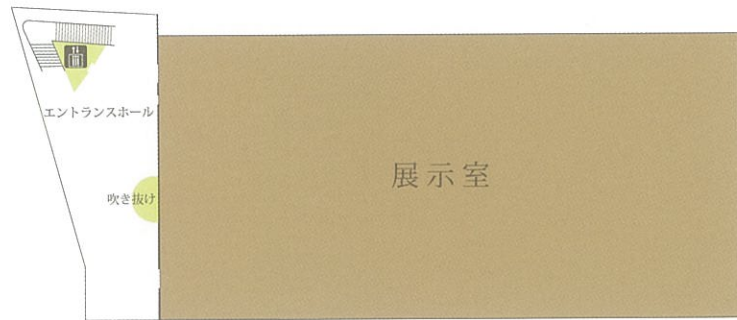


回廊スペース



回廊スペースからの展示室内の様子

2 F

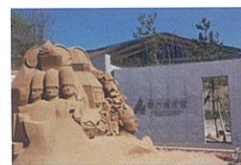


展示室内



展示室内

1 F



ウェルカム砂像



エントランスホール

# 砂 像

儂さゆえの美しさ。

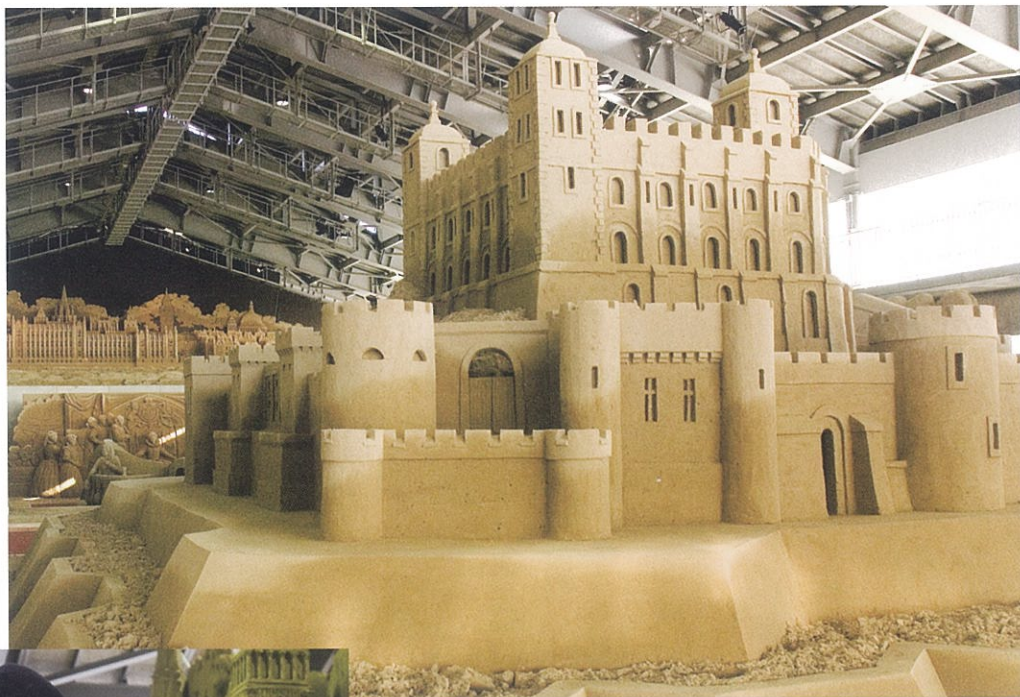
文字通り砂で創られた像のことを言うが、材料は砂と水のみ。

凝固剤や軸などは一切使用していない。木枠を組み立て、その中に砂と水を入れ転圧機で叩いて固める。数日後に木枠をはずし、様々な種類のコテなどで慎重に彫ってゆく。あたかも自在な素材であるかに見える砂は、実は彫刻時の制約が多い。

彫刻の際には、「デザインされた構図」と「素材としての砂」の間のぎりぎりのラインで調和を図る、非常にセンシティブな追求をするわけだが、同時にそれが砂という素材の面白さであると彫刻家は語る。

であるからこそ、砂像には繊細さと躍動感が共存しており、他の素材では表現できない不思議な魅力がある。

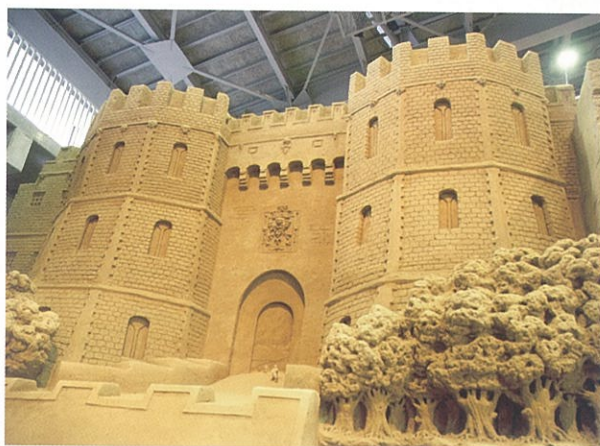
そして砂像は、時を刻むごとに少しずつ変移し、再び元の砂へと戻ってゆく、儂い芸術である。一期一会の出会いの中にその姿を永遠の記憶としてとどめようとする、その行為が砂像の美しさをいちだんと際立たせ、人々の心をとらえて離さないのかもしれない。



## 第5期展示テーマ

# 砂で世界旅行・イギリス

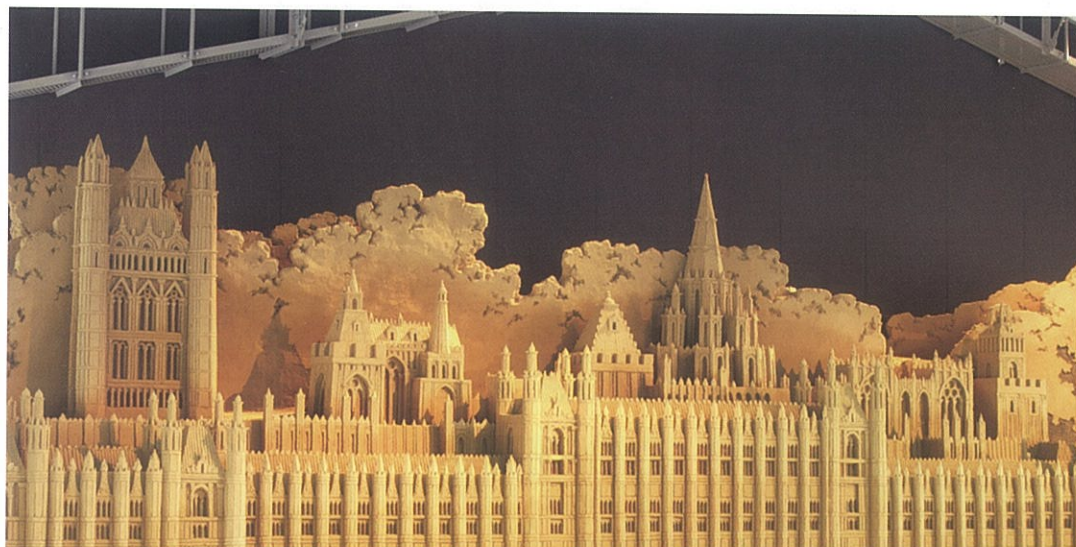
～ 語り継がれる大英帝国の繁栄と王室の誇り ～



リチャード・ヴァラノ「ウィンザー城」



ニコラ・ウッド「衛兵パレード」





ボードリック・バックル「イギリスの文学・シェイクスピア」



ジョハン・タン「バッキンガム宮殿」



ダニエル・ベルチャー「街のにぎわい(酒場の様子)」

ロンドンオリンピックの開催地イギリスをテーマに、ウェストミンスターやバッキンガム宮殿、エリザベス女王やシェイクスピア等壮大な建造物や歴史文化など大英帝国繁栄の足跡を再現。

制作者：レオナルド・ウゴリニ/アンゲフォン・デイビッド/ブラッド・ゴール/カレン・フラリック

ケビン・クロフォード/アレクセイ・シチトフ/リチャード・ヴァラノ/イリヤ・フィリモンツェフ/ジョハン・

ニコラ・ウッド/ボードリック・バックル/トーマス・クオート/ダニエル・ベルチャー/ジル・ハリス/楊歴

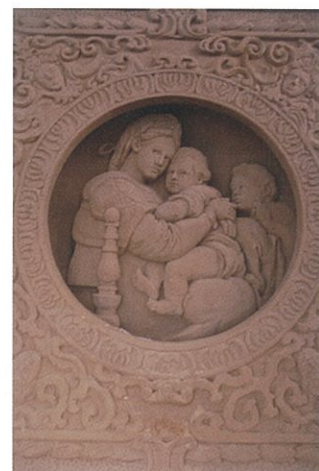
ヤン・リ

第1期展示  
「イタリア・ルネサンス」

イタリア・フィレンツェを中心に繁栄したルネサンス芸術をテーマに記念すべき第1期展示を開  
「砂像」という新たな芸術が開花した。



レオナルド・ウゴリニ「サンピエトロ大聖堂」



茶園勝彦「小椅子の聖母」



茶園勝彦「ピエタ」



茶園勝彦「受胎告知」



制作者：茶園勝彦 レオナルド・ウゴリニ ふくべ砂像研究会

展示期間：2006. 11. 18—2007. 1. 3

入館者数：110,962人

総事業費：970万円

経済効果：5億7,000万円

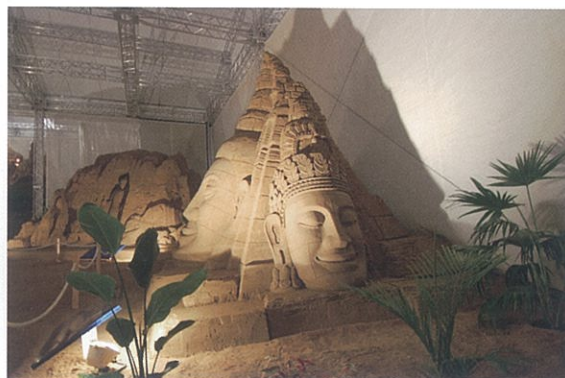
## 第2期展示

### 「世界遺産・アジア編 ～アジアの風にのって～」

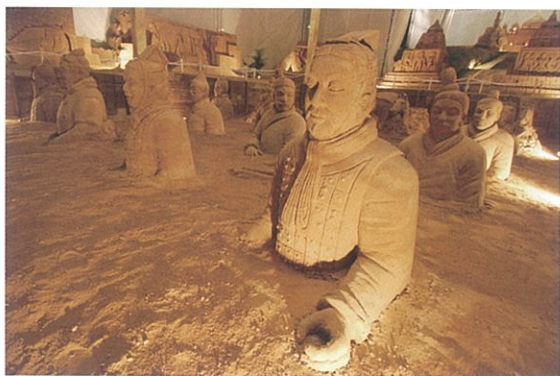
北京オリンピックが開催され、世界的にアジアが脚光を浴びた2008年、壮大で美しいアジアの建造物や彫刻をモチーフにした作品を制作展示。



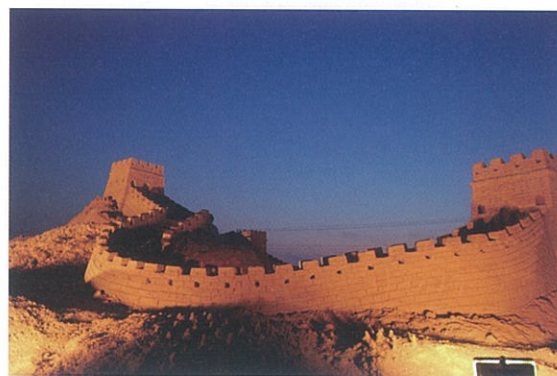
レオナルド・ウゴリニ「タージマハル」



チャン・ウェイカン「アンコールトム」



チャン・ウェイカン チャン・ヨンカン チャン・ヤン ヤン・リドン「兵馬俑」



チャン・ヤン ヤン・リドン「万里の長城」



制作者：茶圓勝彦 / 張偉康 / 張永康 / 張燕 / 楊歷東  
ジョーヘン・タン / スダサン・パタナイク / レオナルド・ウゴリニ

展示期間：2008. 4. 26 — 2009. 1. 3

入館者数：322, 197人

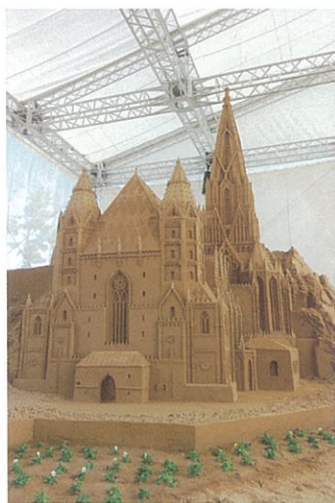
総事業費：7, 600万円

経済効果：55億円

### 第3期展示

## 「砂で世界旅行・オーストリア編 ～ 貴族文化と音楽の都を訪ねて～」

オーストリアの豪華絢爛たる建造物、モーツァルトやハイドンといった音楽家達の足跡をテーマにリアルで繊細な作品を制作展示。



ジョヘン・タン「シュテファン大聖堂」



イリヤ・フィリモンツェフ「マリア・テレジアと音楽家」



アレクセイ・ディヤコフ「弦楽四重奏」



トーマス・クオート チャン・ウェイカン「オペラ座舞踏会」

制作者：レオナルド・ウゴリニ/マクシム・ベスパロフ/ジョヘン・タン/楊歴東<sup>ヤン・リドン</sup>/イリヤ・フィリモンツェフ

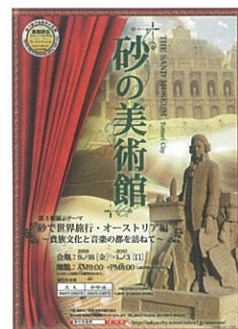
アレッサンドロ・ヴォノバーネ/アレクセイ・ディヤコフ/ジル・ハリス/トーマス・クオート/張偉康<sup>チャン・ウェイカン</sup>

展示期間：2009. 9. 18—2010. 1. 3

入館者数：170, 679人

総事業費：7, 100万円

経済効果：36億6, 000万円



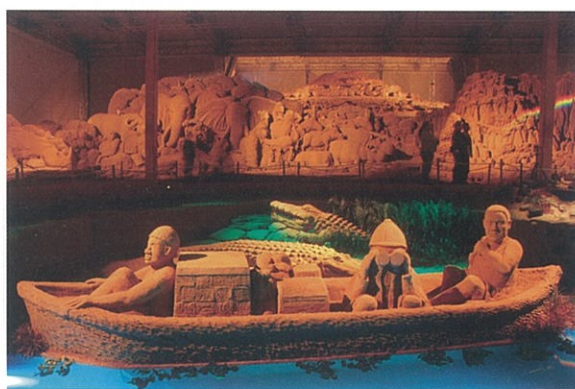
## 第4期展示

### 「砂で世界旅行・アフリカ～偉大なる大陸の歩みを訪ねて～」

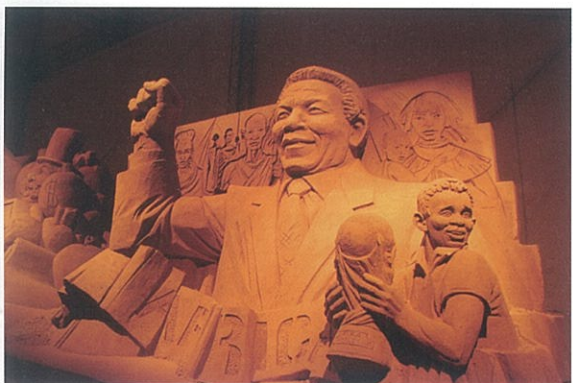
アフリカに生息する貴重な野生動物や、人々の暮らし、世界遺産に登録されている雄大な大自然を再現。生命感に溢れた作品「アフリカの野生動物」は、多くの来館者に愛され、今なお人々の記憶の中に息づいている。



ブラッド・ゴール カレン・フラリック「アフリカの野生動物」



リチャード・ヴァラノ「ザンベジ川の探検」



アレクセイ・シチトフ「ネルソン・マンデラ」



ティモシー・ハンドフォード「サファリ」

制作者：レオナルド・ウゴリニ/アンゲフォン・デイビッド/ティモシー・ハンドフォード/ブラッド・ゴール

カレン・フラリック/エヴァ・マクグリュウ/ケビン・クロフォード/アレクセイ・シチトフ/リチャード・ヴァラノ

イリヤ・フィリモンツェフ/サンディス・コンドラツ

展示期間：2010. 4. 29—2011. 1. 10

入館者数：414,323人





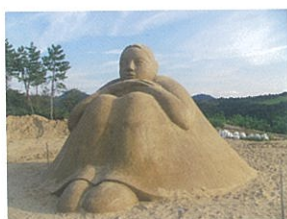
## 砂像のまち鳥取市

鳥取市は「砂像のまち鳥取市」として、

「砂の美術館」を中心に、砂像を活かしたまちづくりを進めています。

### 2005年

鳥取砂丘を展望できる展望台を整備し、その会場内に砂像2体を制作展示



制作者：石谷孝二

作品テーマ：大地～対話～

展示期間：2005.8～2006.3

### 2006年

鳥取砂丘情報館前に、地元の伝説をテーマにした砂像1体を制作展示



制作者：茶園勝彦

作品テーマ：お種伝説

展示期間：2006.3～2007.3

### 2006年

鳥取駅前「まちなか砂像」事業で、砂像2体を制作展示



制作者：茶園勝彦、ふくべ砂像研究会

作品テーマ：麒麟獅子舞、龍

展示期間：2006.10

### 2008年

OSAKA光のルネサンス2008会場内に、シンボル砂像1体を制作展示



制作者：茶園勝彦

作品テーマ：サイレントナイト・サンドファンタジー

展示期間：2008.12.13～2008.12.25

総事業費：1,000万円

宣伝効果：1億円

## 2008年

鳥取駅前風紋広場に砂像1体を制作展示 2009鳥取・因幡の祭典オープニングイベント  
「世界砂像フェスティバル」をPR



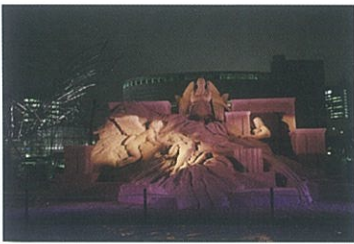
制作者：茶園勝彦 / リチャード・ヴァラノ

作品テーマ：サンド・キャッスル～おとぎの国のお城～

展示期間：2008. 8～2008. 10

## 2009年

OSAKA光のルネサンス2009会場内に、シンボル砂像1体を制作展示



制作者：茶園勝彦

作品テーマ：都会に舞い降りた天使物語Ⅱ

展示期間：2009. 12. 12～2009. 12. 25

総事業費：1,600万円 | 宣伝効果：8,600万円

## 2009年

鳥取砂丘オアシス広場で2009鳥取・因幡の祭典オープニングイベント

「世界砂像フェスティバル」を開催

世界トップクラスの砂像彫刻家による世界砂像選手権



総合プロデューサー：茶園勝彦

制作者：海外砂像彫刻家13人

作品テーマ：世界の童話

展示期間：2009. 4. 18～2009. 5. 31

入館者数：352,484人

総事業費：2億1,400万円

経済効果：96億円

## 2010年

白兔神社に地元の神話をテーマにした砂像1体を制作展示



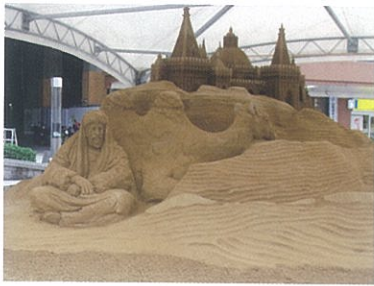
制作者：茶園勝彦

作品テーマ：大国主命と八上姫

展示期間：2010.10～2011.12

2011年

「来なんせ鳥取・因幡の国キャンペーン」に合わせて鳥取駅前風紋広場に砂像1体を制作展示



制作者：茶園勝彦 / レオナルド・ウゴリニ

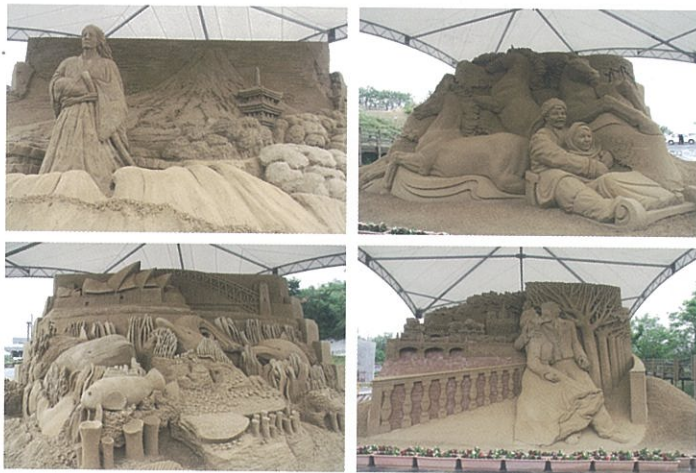
作品テーマ：鳥取砂丘、旅人

展示期間：2011.4～2011.6

2011年

鳥取砂丘市営駐車場と鳥取砂丘情報館駐車場に砂像4体を制作展示

2012年4月オープンの新生「砂の美術館」をPR



制作者：茶園勝彦 / レオナルド・ウゴリニ / ヤン・リドン 楊歴東 / イリヤ・フィリモンツェフ

作品テーマ：世界の四季

展示期間：2011.5～2011.10

観光客、地元の子どもたちを対象にした「砂像制作体験」を実施。

砂像の魅力を制作体験を通じてPR。毎回素敵な作品が出来上がります。





第6期展示テーマ

日本・ASEAN交流40周年記念

鳥取砂丘

# 砂の美術館

砂で世界旅行・東南アジア編

～王朝の栄華とよみがえる神秘の国々～





砂の美術館  
THE SAND MUSEUM  
TOTTORI SAND DUNES